

## 継承者

三重県伊勢市で、バラを栽培する藤原徹也さん(41)は、品質向上と省力化の両立を目指している。全てのハウスの環境制御システムを導入。24時間、どこからでも、気温や二酸化炭素量、湿度などの環境データをグラフとして把握できる。手本とするグラフに近づけることを目標に、試行錯誤を続ける。

バラの生育を確認する藤原さん



△ ▽  
肥料価格が2倍になる環境制御システムを活用 確保し、品質を落とさない栽培方法を追求する。

藤原徹也さん(41) 三重県伊勢市・バラ

## 品質向上と省力両立

60坪でバラを栽培。品種は「ブリランテ」や「サムライ08」「アバランチェ」などブライダル需要の高い赤・白系を中心に16品種を作付け、JA伊勢に出荷する。家族3人と従業員10人の計13人で作業する。

本年度は、防除作業の省力化に向け、うどんこ病の抑制に効果のある「紫外線(UV-B)蛍光灯」を導入した。今後は天敵の活用など新たな方法も検討しているという。

△ ▽

テムの導入で、働き方は大きく変わった。天窓やカーテンの開閉、ヒートポンプなどが自動で稼働し、データに基づいてハウスの環境が整えられる。収量が増えたのはもちろん、自身が自由に使える時間が生まれた。

バラ栽培は父の後を継いで始めた。両親が朝から晩まで休みなく働く姿を見て育ったため、小さい頃から、農業の働き方はこれが普通だと考えてきた。

7年前の環境制御シス

(三重・JA伊勢＝濱千代麻梨香特別通信員)  
(毎週日曜日付掲載)